



かわせみ通信

7月号
2017年7月
Vol.95

発行所  株式会社 東海テクノ ECOLOGY & SCIENCE 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号(〒510-0023)
TEL.059-332-5122(代) http://www.tokai-techno.co.jp

人の噂も75日にしない感性 ~毎年大賞候補にしたいワード~

「ダメよ~ダメダメ」と「集団的自衛権」が流行語大賞となった2014年の候補50ワードの中に、「バックビルディング」と「まさ土」があったのを覚えているだろうか。まるでビルが背後に乱立していくように積乱雲群が次々につくり出されていく状態がバックビルディング現象と呼ばれ、その結果出来た線状降水帯によって2014年8月に広島市北部を記録的豪雨による土砂災害が襲った。そして、そうした土砂災害（山崩れや土石流など）を起こしやすい地質として「まさ土（真砂土）」に耳目が集まったのだ。バックビルディング現象は台風時に良く起きる現象で、2013年10月に伊豆大島で大規模な土砂災害を引き起こした台風26号による記録的大雨でもこの現象が観測されている。2015年9月に鬼怒川を決壊させた北関東の豪雨、そしてこの7月5日から6日にかけて死者20名を超えるに

至った九州北部の記録的な豪雨も、この現象すなわち線状降水帯によるものである。次々と積乱雲を発生させるためには、大量の下層水蒸気（地上から上空1km付近までの水蒸気）が継続的に供給されることが条件になるが、この気象条件を台風に限らず引き起こしている原因は海水温の上昇だ。今後もアジアでは豪雨災害



池を進む FOMM (Bangkok Post より)

の増加が予測されていると同時に、逆に南半球ではより激しい干ばつが起きることも危惧されている。パリ協定に米国がいてもいなくても、大変な事態が予想より早くても遅くても、いずれにしろ我々は気候変動に対応していかざるを得ない。タイでは日本以上にモンスーン期に起きる洪水が年々ひどくなっており、毎年のように街に水没車があふれることから、日本のベンチャー企業FOMM社の水陸両用4人乗り小型EV車に政府あげての協力姿勢をとっている。今年末から2018年初頭に100万円程度の価格で発売が予定されているという。残念ながら何故か日本では小型EVは規制で一人乗りしか許可されないためこの車を災害用に準備することはできないが、せめて流行語大賞の候補にバックビルディングを毎年入れていくぐらいの感性は持っていたいものだ。



「汚染負荷量賦課金」って何？ 誰が払うことになっているの？

汚染負荷量賦課金は、硫酸化物を排出する施設を昭和62年4月1日の時点で設置していて、最大排出ガスが一定量以上ある事業所が毎年排出量等に応じて算定して、(独)環境再生保全機構へ申告・納付することになっているお金のことで、毎年全国約8300の事業所が納付しているんだ。

昭和49年9月に、公害健康被害補償法の制度が発足して、公害の被害者に対する補償給付等の財源に充てることに決めたんだ。なぜ公害の元となった地域の事業所だけでなく、全国の事業所が負担するかというと、大気汚染はどこの煙突から出た煙が、どれだけの被害をもたらしたかははっきりさせることができないからなんだよ。そのため大気汚染の原因を ①工場・事業場の煙突から出る煙 ②自動車排ガス の二つと割り切って、この両者から出る硫酸化物(SOx)と窒素酸化物(NOx)の量に応じて、補償給付費等負担分の8割を汚染負荷量賦課金から、残り2割を自動車重量税から賄っているんだ。現在は新たな健康被害者認定は行われていないけど、公害の酷かった時期に被害に遭われた方やその遺族への補償として役立っているんだね。

夏のエコフェア2017

今年も小学生のお子様を対象とした「夏のエコフェア2017」が開催されます。参加型のイベントなので、工作や体験などを通して、日常とは違う視点で楽しみながら学べます。

【日時】 平成29年7月22日(土)・23日(日) 10:00~15:00 (雨天決行)

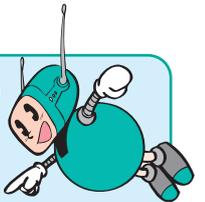
【会場】 鈴鹿山麓リサーチパーク会場

三重県環境学習情報センター及び周辺施設

【入場料】 無料 ※一部有料(飲食・材料費等)

当社は毎年プラカップからキーホルダーを作る工作ブースを出展しています。完成形を考えながら自分なりにデザインする作業は、とても夢になれるようで、毎年たくさんの小学生に会場にいらしています。では、ここで質問! 写真中央の完成品になるのはどのデザインのプラカップでしょうか? 想像を膨らませていただければと思います。

※答えは本紙面内に記載してあります。



社員プチコラム

伊藤 みち (営業本部 CS営業部 本社CSグループ)

昨年12月に、私の住んでいる四日市市富田地区の祭り「鳥出神社の鯨船行事」が、「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産に登録されました。全国の名立たる祭りの規模とは比較にならない小さな町の祭りだと思っていたため、登録されたことになんか驚き、今年の夏はいつもと違う雰囲気になるのだろうかと思っています。私の家族は同じ神社を中心とする石取祭に参加しているのですが、この時期は一年の中で最も忙しなく、私は支える側ではありますが、移り住んで十数年、ひと夏ごとに感じる子供たちの成長と合わせて、祭りにも地域にも愛着を感じるようになってきました。



編集後記

プラカップのデザインを考えるにあたって、モチーフとしたのは夏の風物詩である花火でした。夜空にきれいに広がる花火を想像しながら、大気汚染が深刻だった時代に花火を打ち上げたらどう見たのだろうかと思いました。今年の四日市花火大会は8/27(日)です。きれいな花火が見られるのは本当にありがたいことですね。

※答え④でした。(みっちー)

